

援助職のための心理臨床研修会

2022年3月～2023年2月(全10回)

援助職のための心理療法の会（令和4年度）実績・予定表

回数	日付	テーマ	内 容
1	3/26	コラージュ療法	コラージュの歴史やその理論とやり方について講義をし、その後実際に体験しました。作品をみんなでシェアリングし自身が感じる癒しを発表し合います。その後臨床現場でどのように使えるのかなど意見交換しました。退行と統合を一度に体験し、その結果、さまざまなストレスからの解放と癒やしを実際に体験することから現場への応用を話し合いました。
2	5/28	スクウィグル法	遊びの中から偶発的に生まれた意味のないものから何かが生まれ、それが意味のあるものへと変化していく過程を講義と実演で体験し統合されていく過程を楽しみました。今回は芸術療法の中山康弘先生のMSSM（交互ぐるぐる描き投影・物語統合方）も折衷しながらみんなで物語を作成。
3	6/25	風景構成画法	風景構成画法の発展について、歴史的経緯を踏まえて講義し、実際に演習を行った。それぞれ描いた絵をもとに解釈しながら本療法を体験し、最後に皆でシェアリングした。
4	8/27	フォーカシング クリアリングス ペース	歴史や理論に触れた後、実際に自分に当てはめて体験しました。シェアリングに時間をとります。気になる出来事を具体的に話す必要がないことで侵襲性がなく安全に自身のこころと向き合えることを体験します。その後、面接の技法の1つとして、特に上手く言語化できない思春期の子どもたちへの面接現場にどう使うかなど話し合いました。
5	9/23	ソリューション・ フォーカスト・アプ ローチ	普段の会話や臨床場面においてちょっとした声かけや応答で相手の視点のがらりと変わったり気づきがおこったりを臨床場面でよく経験することを共通理解した後、臨床現場で普段何気なく使っている自身の応答の中にベストな応答がたくさん光っていることを出し合い、ソリューションフォーカストアプローチの系統的な理論を学びました。ロールプレイをペアでもらい理論や様々な応答技法を系統的に体験できました。
6	10/29	夢フォーカシング	ジェンドリンが提唱した「夢フォーカシング」の概論、やり方について、特に夢の質問の仕方についての講義を30分。残りの時間で、参加者全員が自身の夢について話をして、各々が質問表に従って尋ねてみるというワークを実施。最後に全員で気づきの振り返りをした。
7	11/26	グループ・エンカウ ンター	構成的グループエンカウンターの概略についてお話しした後、事例を提示しました。その後、いくつかのエクササイズを行い、グループエンカウターの雰囲気味わい、楽しんでもらいました。最後のシェアリングでさらに深まりました。学校やグループで活用してもらえればと思います。
8	12/17	ヤングケアラー (事例発表)	ヤングケアラーの支援について事例検討をする。福祉課題の発見、多職種連携の視点、クライアント自身の課題を分けてアセスメントしていくことなど参加者と共有しクライアントの豊かな生活、継続的な支援の実現に向けて、支援者自身が希望を持つことが大切だと再確認できる会でした。
9	1/28	応 用 行 動 分 析 (ABA)	初めに応用行動分析の基本を勉強し、その後事例をもとに実際にABC分析表に書き込み、それを元に「機能」の見つけ方を演習しました。後半はどこにアプローチしていくのかを勉強したのちみんなでアプローチの仕方を検討し、身の回りの事例に当てはめていきました。理論とアセスメントとアプローチを勉強することができました。
10	2/25	ポリヴェーガル理 論 (ストレス&トラ ウマ)	新しい自律神経の捉え方「ポリヴェーガル理論」について、心や身体に現れるさまざまな症状が起る理由を、神経メカニズムの観点から講義しました。後半、この理論を利用したリラククス状態を作り出すエクササイズを参加者と一緒体験しました。その後シェアリングでは今気になるクライアントの状態を神経の観点からアセスメントできることを出し合いました。また、参加者自身が振り返り安全に自身を俯瞰する機会ができる会となりました。